

令和元年度

「言語聴覚の日」イベント報告



長崎県

一般社団法人長崎県言語聴覚士会では、8月25日(日)に「言語聴覚の日」のイベントを開催しました。

今年のテーマは「子育て世代との交流」です。

開催場所は平素より多くの家族連れで賑わっている公的機関のある1階コミュニケーションルームです。

このコミュニティルームへ入場してきた家族の親との会話と啓発を通じた交流を、また、子どもたちとは、おもちゃ作りやそのおもちゃを使用しての交流を図りました。

新企画として、「言語聴覚の日の活動に関するアンケート」を作成し、アンケート調査を実施しました。

開催日は夏休み最後の日曜日でしたが、家族連れが大変多く、コミュニティルームも親・子の熱気でいっぱいになりました。イベント会場に入場された方は100名を超えました。

実施したアンケートですが、性別・年代・住まいといった属性と、言語聴覚士の認知度、言語聴覚士に感じる身近さ・言語聴覚士の業務について質問紙を使用しました。言語聴覚士の知名度は90%、身近に感じるか?は50%、業務を知っているか?は69%という結果となりました。

総括すると、啓発活動の対象を明確にし、対象に応じた言語聴覚士を配置し、対象者と触れ合いやすい場所・内容を設定した事で、具体的な活動が出来たと思います。また、アンケート結果より分析や考察が出来るものもありました。次年へ向けて推敲し、より良い啓発活動に繋げて行きます。

一般社団法人 長崎県言語聴覚士会
広報局 理事 増田 廣介
(社会福祉法人 十善会病院)

